

定例会の 主な内容

第12回(2月)定例会は、2月10日から3月22日までの41日間にわたり開催しました。この定例会では、市長から令和4年度の施政方針が述べられた後、令和3年度関係議案及び令和4年度関係議案等47件、議員提出議案1件が審議され、いずれも原案のとおり議決し、議案1件の撤回を承認しました。また、8人の議員が一般質問(代表質問)を行いました。(P.6～10)

ここでは、令和4年度の一般会計、特別会計(4事業)及び企業会計(3事業)の予算審議、歳入・歳出予算額等の主な内容をお知らせします。

特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入でその支出を賄う会計です。

会 計	令和4年度予算額	令和3年度予算額	増減率
国民健康保険事業	205億7,600万円	209億7,200万円	△1.9%
土地取得事業	9,100万円	6,300万円	44.4%
介護保険事業	180億8,700万円	170億円	6.4%
後期高齢者医療事業	29億8,400万円	27億2,800万円	9.4%
合 計	417億3,800万円	407億6,300万円	2.4%

企業会計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。

会 計	令和4年度予算額	令和3年度予算額	増減率
病院事業	125億3,200万円	124億1,300万円	1.0%
水道事業	59億5,200万円	62億6,900万円	△5.1%
下水道事業	107億8,100万円	105億8,700万円	1.8%
合 計	292億6,500万円	292億6,900万円	△0.0%

特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

問 市立病院における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策は。

答 これまでも病院入口での発熱トリアージのためのA Iサーマルカメラや簡易陰圧装置、PCR検査に使用する装置などを購入・設置し、感染防止対策に努めてきた。令和4年度は新たに院内感染対策システムの更新を行い、電子カルテシステムと感染症情報を共有することにより、迅速な院内の感染情報管理を行い、感染症によるリスク低減に努めていく。

問 令和4年度の国民健康保険料の算定方式の見直し内容と、保険料に対する考

方は。

答 令和4年度は国民健康保険料の基礎賦課額のうち、資産割額を廃止し、均等割額を引き上げるほか、未就学児に係る均等割額の減額措置を導入する。保険料については、被保険者の高齢化・医療の高度化などにより、一人当たりの医療費が増加傾向にあることなどから、保険料率の見直しを行う必要があるが、国民健康保険事業基金等からの繰入れを行い、保険料の上昇を抑制することで、被保険者の負担軽減に努めていく。

問 国民健康保険加入者への保健事業の取組内容は。

答 若年世代からの生活習慣

病予防対策として、特定健診対象前の20代から30代を対象に、スマートフォンを活用し、自宅で健康診査に準じた検査を行うスマホドックを実施する。また、歯科検診の受診勧奨や糖尿病性腎症の重症化を抑えるための保健指導に加え、新たに、治療を中断している被保険者に対し、重症化を予防するための受診勧奨を行い、重症化予防対策のさらなる強化を図っていく。

問 令和4年度における沼津市水道事業ビジョンの計画値に対する水道施設の耐震化率の見込みは。

答 上香貫東坂地内配水管布設替工事など117件の工

事を実施することにより、耐震化率の見込みは、配水池が計画値85.7%に対し85.7%、基幹管路が計画値42.4%に対し41.9%、耐震化優先管路が計画値31.5%に対し31.4%の耐震化率を見込んでおり、おおむね計画どおりの耐震化が図られる。

問 下水道の人口普及率の見込みは。

答 下香貫・西島町・吉田町・大岡・大諏訪地区など人口密集地区の管渠布設工事を実施することにより、令和4年度末の人口普及率は、令和3年度末の見込みである63.1%から1.3ポイント増の64.4%を見込んでいる。